

略歴

安浪 小夜子（やすなみ さよこ）准教授

1953（昭和28）年生まれ 熊本県熊本市出身

学歴

- 1972年3月31日 熊本県立済済覺高等学校卒業
- 1972年4月1日 国立熊本病院附属看護学校入学
- 1975年3月31日 国立熊本病院附属看護学校卒業
- 2008年4月1日 熊本県立大学アドミニストレーション研究科博士前期課程入学
- 2010年3月31日 熊本県立大学アドミニストレーション研究科博士前期課程修了
- 2011年4月1日 熊本県立大学アドミニストレーション研究科博士後期課程入学
- 2013年3月31日 熊本県立大学アドミニストレーション研究科博士後期課程中退

職歴

- 1975年4月1日 国立熊本病院採用
- 1978年2月1日 国立小児病院異動
- 1979年5月1日 国立熊本病院異動
- 1984年7月1日 国立療養所菊地恵楓園附属看護学校 教員
- 1996年4月1日 国立熊本病院 看護師長
- 2002年4月1日 国立川棚病院 副看護部長
- 2003年4月1日 国立熊本病院 教育主事
- 2008年4月1日 国立病院機構長崎医療センター 教育主事
- 2009年4月1日 学校法人活水学院 活水女子大学看護学部 准教授
- 2010年4月1日 熊本県立大学総合管理学部 准教授

所属学会

日本医療マネジメント学会、日本看護管理学会、日本看護教育学会、日本保健医療福祉連携学会

社会での活動

- 熊本県准看試験委員（2004年4月～2008年3月）
- 日本看護協会教育学会査読委員（2010年）
- 熊本県看護協会認定看護管理者教育課程運営委員（2012年～2018年）
- 九州地方社会保険医療協議会熊本本部会委員（2015年10月～現在に至る）
- 熊本県医療審議会委員（2016年～現在に至る）

熊本県大津町新設保育所等設置選定委員会委員（2016年4月～現在に至る）
熊本県大津町子ども・子育て会議委員（2016年4月～現在に至る）
熊本市東2地域包括支援センター地域運営委員（2017年9月～現在に至る）
熊本市東3地域包括支援センター地域運営委員（2016年9月～現在に至る）
熊本県地域福祉支援事業補助金審査会審査員（2018年～現在に至る）
（株）ワークステージつばさ 苦情解決第三者委員（2018年～現在に至る）
日本医療マネジメント学会評議員（2016年～2017年）、監事（2018年～）
CPDプログラム「認定看護管理者教育課程サードレベル」教育担当責任者（2014年～2018年）

主な研究業績

I. 著書

- (1) 「クリティカルパス上の成果医療実践—婦人科領域での試み—」『MEDICALQOL』, 2001年3月（分担執筆）
- (2) 「手術室のクリティカルパス活用マニュアル 単純性子宮全摘術」『オペナーシング春季増刊』メディカ出版, 2001年（分担執筆）
- (3) 『実践フィジカルアセスメント入門＝多職種協働時代の必携ツール＝』看護の科学社, 2013年3月（分担執筆）
- (4) 「教育とクリティカルパス—看護基礎教育から新人教育への提案—」『MEDICALQOL』, 2016年1月（分担執筆）

II. 論文

- (1) 「化学療法後の患者の不快臭を除去するための援助方法」『医療』153号, 1999年
- (2) 「クリティカルパス改良に向けたバリエーションの検討」『医療マネジメント学会雑誌』, 第13巻1号, 2000年
- (3) 「CPに術前・術中・術後までの看護記録を併用しての評価」『医療マネジメント学会雑誌』, 第11巻1号, 2000年
- (4) 「化学療法クリティカルパス導入後の成果」『医療マネジメント学会雑誌』第12巻1号, 2000年
- (5) 「悪性腫瘍患者の退院後の自己効力感に関する実態調査」『医療』第154号, 2000年, 50-63頁
- (6) 「強酸性電解水を用いた陰部洗浄の方法の検討」『国立病院医学雑誌』2003年, 50-53頁
- (7) 「神経難病患者のインターネット利用による在宅支援ネットワーク構築のための実態調査」『平成14年国立病院・療養所共同基盤研究報告書』2003年, 1-32頁
- (8) 「新人教員の自立する過程でのゆらぎの分析と支援の状況—支援プログラム作成に向けて」『平成18年度国立病院機構共同研究報告書』2007年, 1-41頁

Ⅲ. 学会発表

- (1) 「看護教育における体験学習の効果 学生のレポートと意識調査からの分析」国立病院総合医学会, 1995年
- (2) 「化学療法後の患者の不快臭を除去するための援助方法」国立病院総合医学会, 1999年
- (3) 「CPに術前・術中・術後までの看護記録を併用しての評価」医療マネジメント学会学術集会, 2000年
- (4) 「悪性腫瘍患者の退院後の自己効力感に関する実態調査」医療マネジメント学会学術集会, 2000年
- (5) 『「今、当院に求められる看護卒後教育とは」を考えるー教育ニーズの査定から教育体系図作成の過程を振り返ってー」国立病院総合医学会, 2000年
- (6) 「化学療法クリティカルパス導入後の成果」医療マネジメント学会学術集会, 2001年
- (7) 「クリティカルパス作成・使用状況の実態と今後の課題」医療マネジメント学会学術集会, 2001年
- (8) 「患者主体の看護を目指して 患者と共に看護計画立案から評価の過程を振り返る」国立病院総合医学会, 2001年
- (9) 「クリティカルパス改良に向けたバリエーションの検討」医療マネジメント学会学術集会, 2002年
- (10) 「消化器術後患者の食の自立への取り組み 入院当初から退院後までの継続的にかかわりをおして」医療マネジメント学会学術集会, 2003年
- (11) 「強酸性電解水を用いた陰部洗浄の方法の検討」医療マネジメント学会学術集会, 2002年
- (12) 「看護学生の手術室見学実習における手術・麻酔侵襲についての学習を深めるための取り組み 手術室看護師参加によるカンファレンスにおける学習効果」国立病院看護研究学会, 2008年
- (13) 「看護学生実習開始前ミニカンファレンス導入の効果についての検証」国立病院看護研究学会, 2010年
- (14) 「医療福祉総合施設における『多職種協働研修』の効果」医療マネジメント学会学術集会, 2013年
- (15) 「地域医療における看護連携体制構築のための要件ー患者の受療行動を重視した地区をモデルとしてー」日本看護管理学会学術集会, 2014年 (共著)
- (16) 「スカイプ活用による看護研究支援ースカイプ活用による支援を可能にする要件ー」医療マネジメント学会学術集会, 2015年

Ⅳ. 講演・シンポジウム・研修会等

九州厚生局主催実習指導者講習会、国立病院機構九州ブロック実習指導者研修会、熊本県看護協会研修、熊本県看護教員養成講習会 熊本県立大学CPD講座(認定看護管理者サードレベル)、日本看護学教育学会座長、国立病院総合医学会座長、日本医療マネジメント学会シンポジウムおよび座長

V. その他

- (1) 「災害と総合管理－災害から命と生活を守る－」『熊本県立大学ブックレット 1』, 熊日出版, 2015 年 (分担執筆)
- (2) 「少子高齢化と総合管理－少子高齢化と地域包括ケアシステムの課題－」『熊本県立大学ブックレット 2』, 熊日出版, 2016 年 (分担執筆)
- (3) 「熊本地震と震災復興－災害時の保健・医療・福祉－」『熊本県立大学ブックレット 3』, 熊日出版, 2017 年 (分担執筆)